

体制が整っており、さまざまな過程で協力し合い、最適なケアマネジメントが可能となるように考えている。申請が困難な方への支援については、福祉事務所等が障害者の状況を事前に把握し、具体的事例に則して出動できる体制を整えたい。

保育施策の充実に向けて

問 近年のベビーホテル等認可外保育施設の増加から、深夜保育の需要が予測されるが、本市の対応は。

答 勤務形態の多様化により、深夜保育等の需要は増大するものと考えている。今後、ニーズを十分把握し、民間活力との連動も含めてより有効な方法を検討し、各種保育の充実に取り組

みたい。



健やかな成長を支えるために(岡南保育園)

施策の優先順位や手法等についての検討結果や、現在進めている活動成果を踏まえ、市民に情報公開しながら取り組みたい。

溶融スラグ

市発注工事で積極的に活用

問 溶融スラグの有効活用にに向けた取組状況は。

答 溶融スラグは、平成14年7月に準JISに位置づけられ、三年後にはJIS化される予定と聞いている。本市では、まず10月発注予定の市道舗装工事で、スラグを利用した施工を行うこととしている。スラグの利用により工事費は割高となるが、埋立経費と工事費を総合的に勘案すると、スラグ一トン当たり五千五百円から九千二百円の経費節減が図れるとともに、最終処分場の延命化にもつながることから、今後も関係部局と連携して積極的な利用を図りたい。

バイオ燃料の

実用化に向けて

問 家庭から出される廃食用油等を精製したバイオ燃料は、軽油に比べて二酸化炭素等の削減に有効だが、本市でも燃料化に取り組み考えは。

答 資源の有効活用や環境保全の観点から、バイオ燃料の有効性は認識している。廃食用油

再利用については、再生プランの導入コストやランニングコスト、回収量の安定確保、車両のメンテナンスの増加等多くの課題があるが、資源循環型社会

教育・文化

公立校と私立校との連携で

教育力の向上を

問 市内には私立の小・中学校が少ないが、公立校と私立校が互いに切磋琢磨できるような私学を増やしていく考えは。

答 独自の教育理念で学校の特色づくりに意欲的に取り組む私学の姿勢は、公立校にとっても学ぶべき点が多い。私立校と公立校が切磋琢磨して、それぞれの教育力の向上を図ることに、公立校の個性化が進み、学校選択の幅が広がることなどが期待されることから、互いの良さが一層引き出せるような体制づくりを行っていきたい。今後、私学との懇談会等を持ち、連携を深めていきたい。

フッ素洗口で

子どもの虫歯予防を

問 自己管理が難しい子どもの頃からの虫歯を予防するため

の形成につながるものであり、現在、先進都市の状況を調査しながら、実証実験に向けて研究している。

小学校でフッ素洗口に積極的に取り組んでは。



子どもの頃から歯の健康管理を - 加茂小学校

答 保護者に対し、フッ素洗口の有意性や安全面等について広報・啓発活動を行い、コンセ

環境



希少野生生物 保護への取り組み

問 環境省から種の保存の指定対象とされ、捕獲等が原則として禁止されたスイゲンゼニタナゴ保護への取り組みは、希少野生生物の生息環境保全に向けた取り組みは。

答 現在、スイゲンゼニタナゴ検討会を設置し、タナゴの通称「カメンター」を冠したプロジェクトを開始したところで、生息調査や水路保全活動への市民ボランティアの参加、捕獲禁止看板の設置等を行っている

平成14年度末を目途に出される岡山市環境保全審査会における